



Press Release

報道関係各位

2025年7月24日

エイム・テクノロジーズの海外展開第一弾として、フィリピンの大手マンションデベロッパ PH1 World Developers が建築のマニラ市内高級コンドミニアムにエレベータ連携配送ロボット NAOMI-2 が導入決定。共同発表をデベロッパ、エイム・テクノロジーズ、現地代理店 GSR と一緒に7月19日に新設ショールームで多数の関係者、報道関係者を招いて盛大に行いました。

—日本発サービスロボットを世界に—その第一歩。

■ 決定の背景と目的

エイム・テクノロジーズ株式会社（本社：東京都／代表取締役：吉本万寿夫）は、2025年7月19日に、フィリピン大手デベロッパの PH1 World Developers（本社：メトロマニラ市フィリピン/会長：Edgar Saavedra、社長：Gigi G. Alcantara）と現地代理店で PM(property management) 会社の GSS 社（本社：マカティ市フィリピン/社長：近藤君代）と一緒にマニラ市内で共同発表と展示を行いました。フィリピンでは経済発展に伴い集合住宅（コンドミニアム）の建築が非常に盛んであり、PH1はいくつかのコンドミニアムをすでに展開中です。配送ロボットでフロントから部屋までエレベータを介してタクシー配車や食料配送の最大手の GRAB などが運んでくる料理などを部屋まで運ぶコンシェルジュサービスを導入することで不動産価値を高めていきます。このサービスはフィリピンでは最初であり、PH1はエイムがすでに日本国内で展開中の色々なホテルでの客室配送を見て導入を決定しました。

2024 年末には、マニラ首都圏のコンドミニアム総数は約 16 万 6400 戸になっているとされており、経済成長が高いフィリピンでは今後マニラ首都圏を中心に続々と増えることが予想されます。それに従いエレベータ連携の配送ロボット、清掃ロボットなどのデマンドが増えることが予想されます。

当社は、これまで日本国内を中心に事業展開してまいりましたが、今回のフィリピンを皮切りにアジアオセアニア、中近東、北米などでの営業拡大を現地企業とタイアップして拡大していきます。

特に、エイム・テクノロジーズが独自に開発し特許を所有している世界のどのメーカーのエレベータ、どの機種のエレベータでも、どのロボットもが簡単かつ安価に乗降できるエレベータアダプタシステムにより競合力があることで世界の大きなマーケットニーズをカバーできると確信しております。

コンドミニアム、ホテル、オフィス、物流センター、病院、工場などでの縦移動への要求は世界的に非常に高いものがあります。



左図はエイムの配送ロボット NAOMI-2 を囲んでエイム代表の吉本万寿夫と PH 1 会長の Edgar 氏、PH 1 社長の Gigi 氏、GSR 社長の近藤氏。右図は建設中のコンドミニアム模型



左図は、完成予想図。右図は多数の関係者や報道関係者を招いてのオープニング式典。

PH1 World Developers： フィリピン大手不動産デベロッパであり、セブ国際空港やマニラ市内のメトロを建設している大手ゼネコン MEGAWIDE

<https://megawide.com.ph/> の子会社です。会長の Edgar 氏は MEGAWIDE の会長でもあり、Forbes によればフィリピン50位以内の資産家であります。

<https://www.forbes.com/profile/edgar-saavedra/>

GSR 社： フィリピンでの不動産を通じて IT リアルエステートソリューションプロバイダーとして AM、PM 業務をおこなっています。<https://www.gsr-jp.com/company/> エイムテクノロジーズのロボットシステムとソリューションのフィリピンでの販売代理店です。

【本件に関するお問い合わせ先】

■エイム・テクノロジーズ株式会社

エイム・テクノロジーズは、エレベータ連携システムと AI サービスロボットを用いたホテル、マンション、オフィス、製造業、物流関係等エレベータがあるところ全てのお客様に対するご提案を通じ、人とロボットが便利に、安全に共存する社会インフラの一翼を担う企業として様々な提案を行ってまいります。

【会社概要】

会社名：エイム・テクノロジーズ株式会社

所在地：東京都港区虎ノ門 1-10-5 KDX 虎ノ門一丁目ビル 9 階

代表者：吉本万寿夫

設立：2019 年 9 月

URL：<https://aim-tech.jp>

RFA(ロボットフレンドリ施設推進機構)正式会員

【お問い合わせ先】

担当：橋本仁

TEL：03-5244-4301

e-mail：robot@aim-tech.jp